
ブッシャーLife

ポン本

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

プッシュャーLife

【Nコード】

N8963H

【作者名】

ポン本

【あらすじ】

主人公佐々木正美とその仲間、客などが繰り広げるドラマ。商売柄様々な事件、トラブルに巻き込まれて行く…

第一話目

雨の音が聞こえる…

まだ眠い目をこすりながら携帯で時間を確認する。午後6時、丸一日以上寝てたらしい。

「さて、風呂にはいるか」

お湯の設定温度を熱めに設定する。眠剤が効いていてだるい体を起こすため、そして体内に残っているシャブを少しでも抜くためだ。

熱々の風呂から上がりスポーツドリンクを一气飲みする。目がかすむ、肌がかさつく、体の水分が足りないからだ。

自己紹介が遅れたな。俺の名前は佐々木^{ささきまなみ}正美だ。

仕事はシャブのブッシャーをしてる。これ以上は言えないな。仕事上あまり好ましく無いんでな。

仕事に使っているトバシの携帯の電源を入れてみる。毎日19時に電源をいれる事にしてる。そうじゃなきゃ一昼夜電話はなりっぱなしだ。ポン中パワーにや驚かされる(笑)

10分もしない内に電話がなる。

「はい」

高橋

「しばらくつす！今日これから2パケとポンプ一本欲しいんですけど」
「場所はいつものところで、19:50な」

高橋

「わかりました！」こんなやり取りを朝方まで続ける。1g150
00円〜20000円で仕入れて1パケ0.15g入ったのを10
000円で売る。調子が良ければ一日に10個から15個売れる。
そうなれば馬鹿でもわかるだろう。濡れ手に粟、ぼろ儲けだ。

よし、行動する前に一発キメるか。

糖尿病患者用の使い捨て注射器に大きめのパケに入ったまだ小分け
する前のシヤブを太いストローで作ったストロースコップで適当に
すくい注射器の中に滑り落とす。そして中棒を押し込む、メモリに
して15といった所だ。水をメモリ30弱の所まで吸い上げ空気を
抜く。そして全体が溶ける位で左腕の静脈に注射器を刺す。中棒を
ちよいと引く、すると静脈に入っていたらしくどす黒い血液が戻っ
て来る。中棒を押し返し何度か押し引きを繰り返腕から注射器を
抜く…

押し引きが終わる位にはシヤブの効き目がわかる。後頭部にはかな
りの爽快感と共に前立腺に刺激が走る。
やめられねーよ…と、つぶやきながら注射を水で洗い使用済注射を
まとめている空き缶の中に投げ入れる。

さて、配達に行くか…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8963h/>

プッシャーLife

2010年10月10日20時44分発行